

2004年3月9日

## 緑地資産活用コンサルティング「エコアセット (eco-asset)」開始 ～緑地資源のCSR資産化をお手伝い～

株式会社インターリスク総研 (三井住友海上グループ)  
住友林業緑化株式会社  
鹿島建設株式会社  
国際航業株式会社

株式会社インターリスク総研 (社長: 安田 正)、住友林業緑化株式会社 (社長: 西浦 孝志)、鹿島建設株式会社 (社長: 梅田 貞夫)、国際航業株式会社 (社長: 田中 清隆) の4社は、企業の緑地資産活用を促す"エコアセット"コンサルティングサービスを2004年4月より開始します。

このサービスは、企業が保有する緑地や森林へのマネジメントシステム構築を支援することで、維持管理手法やコストの見直し、新たな活用方法を提案するものです。

企業の社会的責任 (CSR) への取り組みが活発化するに伴い、企業も環境保全活動として「緑地」「自然環境」の保全にも目が向き始めています。

"エコアセット"の導入により、企業が保有する緑地・森林の地域環境資源としての効果的な活用が実現するとともに、企業の社会的価値向上にもつながります。

### 1. コンサルティング実施の背景

- ・ CSRの取り組みを行う中、社会貢献や地域投資の観点から自社が保有する緑地や森林をどのように活用するかについて悩んでいる企業が増えています。
- ・ 欧州では、「景観とアメニティの保全」「生物多様性の保全」「野生生物生息地の保護」なども企業評価の重要な軸となっています。また、現在改訂中のISO 14001の付属書A3.1において「野生生物および生物学的多様性に関連する側面」など間接的環境側面への取り組みも重視される予定であり、日本企業においても緑地資産活用コンサルティングのニーズが高まると考えられています。
- ・ インターリスク総研、住友林業緑化、鹿島、国際航業の4社は、1997年に発足した企業とNPOによる「進化する企業緑地研究会」の主力メンバーとして活動していたこともあり、同研究会のコンセプトである「企業緑地を活用した地域環境創造」に対する企業ニーズが高まったと判断、4社共同の"エコアセット"サービスを立ち上げることにしました。

### 2. サービスの概要

詳細は資料へ

### 3. 対象とする顧客

- ・ 工場緑地を保有している事業所 (特定工場 (注) は全国で約2万サイト)  
(注) 特定工場: 製造業または電気・ガス・熱供給業で、かつ敷地面積9千平方メートル以上または建築面積3千平方メートル以上であると工場立地法で定義された大規模な工場。
- ・ ビル緑化を行っている事業所
- ・ 社有林を保有している企業
- ・ 事業所を新規立地する企業 (設計のレビュー)

### 4. 受注目標

2004年度：50件、総額1億円（関連事業含む）

2009年度：150件、総額5億円

4社の強みを結集した「ワンストップ・コンサルティング体制」で提供するエコアセットは、企業緑地の多面的な価値創造をはかるための最適なサービスと考えています。

以上

#### <お問い合わせ先>

三井住友海上火災保険株式会社 広報部

TeL：03-3297-6705

鹿島建設株式会社 広報室

TeL：03-3746-7040

住友林業株式会社 コーポレート・コミュニケーション室

TeL：03-3214-2270

国際航業株式会社 管理本部総務広報部

TeL：03-3288-5704

[資料へ](#)